

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 8 6 2-7 0745-43-2415
吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 1 1 3-5 090-5257-4446
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 2 8 1-1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 4 4 0-5 0745-43-2661

集团的自衛権容認を「反映」

ガイドライン中間
報告
地球規模で
米軍補完

日米両政府は8日、外務・軍事当局の局長級でつくる防衛協力小委員会（SDC）を都内の防衛省で開催し、日米軍事協力の指針（ガイドライン）の再改定に向けた中間報告を決定しました。中間報告は冒頭、安倍内閣が強行した集团的自衛権行使容認の「閣議決定」を「適切に反映」させると明記。「日米同盟のグローバルな（地球規模の）性質」を強調して、自衛隊の海外派兵について地理的制約を全廃するとともに、「平時から緊急事態まで切れ目のない」協力の確保として「戦闘地域」での米軍支援も可能とする方針を打ち出しました。

現指針は、▽平時▽日本有事▽日本周辺地域における事態（周辺事態）の3段階に分けて日米協力の内容を定めています。中間報告はこの3分類を撤廃新たに（1）日本の平和および安全（2）地域およびグローバルな平和と安全という二つの柱に整理し直しました。

アジア太平洋地域を想定した「周辺事態」が削除されることで、日米安保体制は名実とも地球規模の軍事同盟となります。

（1）では、「密接な関係にある国」への攻撃の発生を受けた日本の集团的自衛権行使で、原理上は

地球の裏側まで参戦可能。平時からの米軍部隊（装備品等）の防護や、戦時の「後方支援」など12項目の協力を列挙しました。

（2）は、アフガニスタン戦争（2001年）やイラク戦争（03年）といった日米安保条約の枠組みを超えた海外派兵を踏まえ、事態の発生場所や日本の安全と無関係に対米協力する新たな枠組み。「後方支援」や「平和維持活動」「海洋安全保障」など7項目をあげました。

また、中間報告は、現代戦争の新領域として米国が重視する宇宙・サイバー空間での協力も強化するとしています。武器の共同開発や輸出を念頭に、「装備・技術協力」「情報保全」の強化を続ける方針も示しました。

日米は年内のガイドライン再改定に向け最終報告の取りまとめを急ぐ方針。ただ、日本政府内には来年1月召集の通常国会に提出する安保法制関連法案との整合性を図るため、再改定を年明け以降に先送りすべきとの声があります。

日米軍事協力の指針

（ガイドライン）

さまざまな事態に対する日米の軍事的な役割分担と協力の方針を定め、米軍と自衛隊の共同作戦の基礎になる文書。ソ連の日本侵攻を念頭に1978年に初めて策定。97年改定でアジア太平洋地域での米戦争への参戦を想定した「周辺事態」にまで日本の協力を拡大し、安保条約の事実上の大改悪を強行しました。

2014年10月9日（木）

党助成金の返還命令

みんな129万円
維新79万円
総務省

総務省が、みんなの党に対し、政党助成金の返還命令をしていたことが、7日までにわかりました。

返還請求の対象となったのは、2013年までに配分した政党助成金のうち、解散した支部に基金として残されていたもので、計129万6222円。

同年分の政党交付金使途等報告書によると、このなかには、12年12月の総選挙に長野3区から立候補、落選し、比例北陸信越ブロックで復活当選した井出庸生氏が支部長を務める「みんなの党長野県第3区支部」の77万308円も含まれています。

井出氏は、昨年12月9日、みんなの

安倍政権”亡国の政治”ストップ



なら赤旗まつり

11月22日（土）
午前10時～



なら100年会場
大ホール・広場

講演 市田忠義 党副委員長
参議院議員

一斉地方選挙
予定候補者せいぞろい

党を離党し、結いの党に参加、ことし9月、「維新の党」に加わりました。ことし7月に解散した日本維新の会にも同様の理由で、79万5189円を返還するよう求めています。

総務省によると、返還命令は9月26日付の官報に掲載、「現在、手続き中」で返還はされていないといいます。

政党助成金の原資は国民の税金です。余った国庫に返納するのが原則ですが、政党助成法では「基金」の名で積み立て翌年に繰り越すことを可能としているため、安倍内閣の閣僚や副大臣、政務官らが計約1億6100万円もため込む事態がうまれています。

2014年10月8日（水）

川内原発住民説明会

「2回目開く考えない」

薩摩川内市長が暴言

鹿児島県薩摩川内（さつませんだい）市の岩切秀雄市長は10日、九州電力川内原発が新規規制基準に「適合」としたことについての住民説明会（9日）を受け、「規制庁は安全性について丁寧に細かく説明した。いい判断材料になった」とのべました。質疑時間が足りないとの批判に対しては「30分の予定だった質疑も倍近く延ばし、いろんな意見を聞けたと理解している」と答え、追加の説明会を求める声にも「2回目を行う考えはない」と話しました。

住民は納得していない

日本共産党の井上勝博市議の話

住民が理解したとは到底いえず、市長の発言は許せません。住民説明会では、「1人1つ」しか質問できず、「避難計画や再稼働についての質問は受け付けられない」など、制限が設けられていました。あまりに勇み足で再稼働に前のめりな市長の姿勢は許せません。

2014年10月12日（日）

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はここが
なら赤旗
刊月 3497円
目曜版 月 823円

町有地の売却

昨年度、町は、町有地を三筆売却しました。

一筆は、津島神社へ公園一九八㎡を約九〇万円で売却。もう一筆は、明日香運送へ里道二五四㎡を約四百万円で売却。あと一筆は、グランド観光（富士ボウル）へ里道・水路・堤二三四㎡を約一千万円で売却しました。

百万円、整地費用△約一百万円、長年使用貸借している△約二百五十万円で残額約九〇万円だそうです。公園の一角で無道路地との指摘は不適切です。古木忠魂碑等は撤去されていないし、整地もされていません。長年の「使用貸借」との認定も、公共団体が一宗教法人に便宜を図ることは憲法上不適切な認定です。

町の財産である土地を売却するときは、不動産鑑定をしたうえで適正価格で売却することが住民への責任です。

田原本議会議員
吉田容工



三宅町の基金と町債

三宅町の「財政公表」が10月に行われました。この中の町債（借金）を見てみますと全体で一億一、二六三万二千円増加し、六〇億三千二百七十五千円という事になっていきます。人口一人当たり八万九千五百三十三円という事になります。

一日以降に預金された基金は二億三千七百五十八円です。平成二六年三月三十一日の基金合計は一億二億八千八百四十五万四千八百円です。二億八千八百四十五万四千八百円も基金をするのであればもっと住民サービスが出来ます。具体的には住民要求を行政に上げる必要があるのではないのでしょうか。

三宅町 池田年夫

町債に関する調べ H25. 12.31～H26. 6.30日現在 （単位1千円）				
	H25.12.31現在	H26.6.30現在	増	減
一般公共事業				
財投等分	39,069	35,681	-3,388	
その他	51,731	56,404	4,673	
一般単独事業				
一般事業	52,949	60,691	7,742	
地方道路等整備事業	433,532	406,969	-26,563	
一般事業（地域総合整備）	11,570	11,067	-503	
公営住宅建設事業				
公営住宅建設事業	289,756	253,892	-35,864	
住宅新築資金等貸付金事業	53,330	46,639	-6,691	
義務教育施設整備事業	209,921	203,113	-6,808	
社会福祉施設整備事業債	0	87,600	87,600	
一般財力施設整備等事業債	0	7,600	7,600	
減価償却費	92,872	81,181	-11,691	
地方道路整備臨時貸付金	2,800	2,800	0	
臨時特別償却費	10,983	9,810	-1,173	
臨時特別貸付金	1,744,351	1,834,919	90,568	
緊急防災減災事業債	62,900	62,900	0	
下水道事業	2,605,388	2,621,102	15,714	
上水道事業	256,491	247,907	-8,584	
合 計	5,917,643	6,030,275	112,632	
三 宅 町 の 基 金				
	H25. 3.31現在	H26.3.31現在	増減	
財政調整基金	682,909,609	812,909,609	130,000,000	
預金	234,000	234,000	0	
証券				
計	683,143,609	813,143,609	130,000,000	
公債償還基金	89,738,814	189,738,814	100,000,000	
公共下水道整備対策基金	18,681,108	18,681,108	0	
地域復興基金	163,676,000	163,676,000	0	
小学校施設整備基金	10,000,000	10,000,000	0	
介護給付費準備基金	31,569,040	31,644,623	75,583	
合 計	996,808,571	1,226,884,154	230,075,583	

やらんと分かん

今週は、赤崎勇さん、天野浩さん、中村修二さんの三人の日本人がノーベル賞を受賞しはった事で話題が持ちきりでしたね。今度のは、科学理論の話では無くて、我々が普段の暮らしの中で使っている物ですもんね。

ニユースで、中村さんを紹介する時に、以前、日亜化学を訴えてはった時の事が流れていました。が、誰もが「せやせや、そう言うたらそんな事が有ったなあ」と、思い出さはったんでは有りませんか。会社は姑息ですわな。この青色発光ダイオードの実用化で莫大な利益が生じんのに、開発者の中村さんへは、二万円の謝礼だけなんか有り得へん話ですわな。そら、

「なめてんのかあ」と、なりますで。

まあ、それはそれとしまして、こうした科学の発見、開発、発明ですが、今度の場合も、発光させる結晶を作る過程で、誰もがこれはあかんと、見限っていた分野を探索し続けた事が成果に繋がったんですし、しかも、たまたま機会が故障して、不十分な状態で手掛けたら、結果それが見事な結晶を作り出せたと言う事です。ですから、何事も「やってみやんと分かんへん」と、言う事ですわな。

まさに、身の回りの暮らしの制度も不都合を取り除くべく、実践して検証する事が大切やと言う事ですわな。

川西町議
会議員
芝和也



ラジオの人生相談

一年程前でしようか、私は若い男性から「ラジオで『テレフォン人生相談』を聴いているが、面白くて為になるよ」と教えて頂きました。

放送は、ラジオ大阪1314で月から金曜日の十一時四十分から十二時までの短い番組ですが、以来私は可能な限り自宅や車で聴いています。

内容は実にさまざま。結婚、離婚、遺産相続、金銭トラブルなど法律的事事は凄く役立ちます。又家族、知人とのトラブル、時には同性愛、自身の考え方についてなど幅広く、私だったら、と考えると考えさせられます。

アドバイスされるプロの方（弁護士、研究家な

ど）とパーソナリティの絶妙なコンビネーションの回答には、大抵の相談者は納得し、救われているようです。

現実の生活を悩みながら生きている相談者の人生は小説にはないリアルさで、プロがどう答えるか、とても興味が持てます。そのプロは相談者に対して、時に共感し、又厳しく叱咤激励し、方法、方向性を示し、本当に真剣に応えておられます。

私もこの放送で知識や考え方を教わり、人生が少し豊かになった様な気がします。皆さんも一度、聴かれてみてはいかがですか？

田原本議会議員
森 良子

